

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医学部・歯学部附属病院
総合患者支援センター
☎ 086-223-7151 (代表)
☎ 086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



総合患者支援センター開設2周年記念講演会

3月10日(木)、総合患者支援センターの開設2周年を記念した講演会を開催し、約200名の方々にご参加いただきました。

特別講演では香川大学医学部附属病院医療情報部の原量宏先生に、「香川県におけるネットワーク医療の現状と将来について」と題して、香川県におけるネットワーク医療の現状、システムの活用法など、今後の医療に欠かすことのできない医療機関同士の連携について講演していただきました。

香川県では、平成15年6月から「かがわ遠隔医療ネットワーク(略称：K-MIX)」というシステムによって、患者様の紹介予約の迅速化や病状経過の共有など、適切な医療の提供に役立てています。地域のかかりつけ医に日々の健康管理を任せ、何かあればいつ



原量宏先生

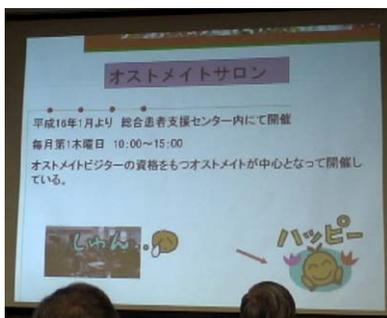
でも専門医がただちにサポートできる体制を整えることで、患者様に安心して地域の医療機関を受診していただけるよう進められているということです。医療のIT化を実用している香川県の現状を、分かりやすくお話していただきました。

また、総合患者支援センターの奥野信枝副看護師長が「オストメイト支援チームのあゆみ」と題して、ご病気によりストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造設されたオストメイトの生活が、少しでも快適になるよう進めた2年間の支援活動について報告しました。

そして、岡山大学医学部保健学科の大井伸子助教授が「総合患者支援センターにおける保健学科の役割」と題して、保健学科の専門知識とセンターの活動を融合させ、〈母乳〉・〈子どもと家族〉・〈痛み〉の相談を行っている現状を報告しました。



奥野信枝副看護師長



大井伸子助教授

図書室がリニューアルしました!

患者図書室が、3月28日(月)増室し、リニューアルオープンしました。



リニューアルポイント

★その① 2部屋に分かれました

所狭しと本が配架してあった図書室でしたが、一般書が隣室に移り、広い空間でゆっくりと選べるようになりました。もう1部屋に医学書・児童書と、パソコン・ビデオを置いています。医療・健康・福祉関連のビデオ・DVDがありますのでご覧ください。



新しくなった
図書室に、ぜひ
お立ち寄り
ください。

★その② オーディオと閲覧テーブル設置

癒しのBGMに包まれてゆったりと閲覧していただけます。



また、毎週木曜午後16時40分~17時40分、南病棟2階小児科病棟で移動図書も始めました。

ボランティアが病棟まで絵本を運び、ご入院中のお子様を選んでいただいています。



ボランティア接遇研修

去る1月28日(金)午後3時から、第9カンファレンスルームで第2回ボランティア研修会を開きました。参加して下さったボランティアの方は19名。『接遇』をテーマにした石橋ソーシャルワーカーの講義に続いて、ロールプレイ、グループディスカッションも取り入れての1時間半でした。ボランティアの方々同志、またボランティアの方々と病院職員との情報交換の場としても有意義なものになりました。



こころのケア

(Vol. 2)

副センター長 岡田 宏基



不安について考えてみましょう

「不安」を感じたことがないという人は、おそらく極めて希でしょう。不安には、**現実的な不安**と、**非現実的な不安**とがあります。現実的な不安とは誰でもが経験するもので、ある症状から、「何か悪い病気だったらどうしよう」とか、「明日の会議でうまくしゃべれなかったらどうしよう」とか、「明後日の試験に通らなかったらどうしよう」というように理解可能なものです。これに対して、非現実的な不安とは、「人混みの中にいて突然倒れたらどうしよう」とか、「窓が開かない列車やバスに乗っていて息苦しくなったらどうしよう」とか、あるいは、1年以上先のことをあれこれ心配して不安になってみたりするものです。どちらの不安にしても、共通していえるのは、『不安は想像の産物』だということです。不安が強い人は、想像力が豊かな人といえます。ただ、それが楽しい想像ではなく、不快感や恐怖に結びつくような想像であることが問題なのです。一つ不安の種が見つかり、そこから雪だるま式に不安が大きくなって行きます。この不安に対抗する方法は、**現実をしっかりと吟味すること**です。息苦しくなるのでは、という不安は過去の実体験に基づいていることもあるのですが、**今の状況は過去の状況とは違う**ということ、**自分に言い聞かせる**のです。この自分に言い聞かせることはとても大切で有効な対抗方法です。それと、空想の世界に浸らず、目の前のことにしっかり対応することです。現実的な不安に対しても、まず**今しなければならぬことに目を向ける**ようにすることで、不安は小さくなります。視点を「今、ここ」に据えることで、不安から解放された生活を送ることができるのです。

地域医療連携室で紹介予約を始めました

本院は地域医療機関との連携を強化し、患者サービスを充実するために、地域医療連携室を開設して、連携機能の効率化を図っています。

その一つとして、他の医療機関からの紹介初診患者（再診患者含む）の診療待ち時間の短縮を目的に、紹介患者様の診療予約受付を行っております。

この制度は、紹介患者様の診療予約について、地域医療機関から「FAX 診療申込書」を地域医療連携室に送信していただきます。地域医療連携室では受診後、診療科と調整し地域医療機関へ返信して予約が完了となります。したがって、患者様本人から直接の申し込みはできませんので、かかりつけの医療機関にお申し込み願います。

なお、本制度は本院のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/syukai.html>

《 お問合せ先 》

地域医療連携室（医科外来診療棟1階）

電話：086-235-7205

FAX：086-235-6761



❖ 私たちが担当しています ❖

～支援の窓から～

(VOL. 4)

歯科衛生士による「はみがき教室」をおこなっています♪

歯科衛生士 三浦 留美

2005年1月より南病棟2階で月に2回、お子様と保護者の方を対象とした「はみがき教室」を開催しております。

- 内容は
- どうして虫歯はできるの!?
 - 虫歯を予防するには!?
 - はみがきのポイント等のお話にくわえ実際に歯についている歯垢(しこう=バイキンのかたまり)を染め出し
 - ・ どういうところに磨き残しができているか
 - ・ どういうふうに歯ブラシを当てたら汚れが落ちるか等

個別にアドバイスさせていただいております。

保護者の方からは「仕上げ磨きのポイント」や「フッ素やキシリトールについて」「歯のはえる順番やはえる位置について」等のご質問がよせられ、それらにお答えしており、好評を得ています。

また4月からは歯科衛生士学校の学生による紙しばい等もおこなっておりますのでどうぞお気軽にのぞいてみて下さいね♪



開催日時 毎月第2・4水曜日 午後2:00～(40分程度)
 場 所 南病棟2階 食堂談話室
 お問い合わせ 086-223-7151 内線6787
 総合歯科治療室 歯科衛生士 三浦 まで

編集後記
 新緑の爽やかな季節になりました。日が長くなり、汗ばむ日も増えて、少しずつ夏に向かっていくのを感じます。この時期、知らず知らずのうちに蓄積されてきた心身の疲れが出て、なんとなく体のだ

るさを感じる方がおられるのではないかと思います。時には立ち止まって、今自分にできることを確かめながら、毎日大切に過ごした(丁)



病院ボランティア募集中!

当院では、外来での案内、患者図書室の運営、小児科病棟での活動などお手伝いくださるボランティアを募集しています。患者様に“やさしい病院”と思っていただけるように、あなたのあたたかい心をお寄せください。ボランティア活動に関心をお持ちの方は、ぜひ一度ご連絡ください。お待ちしております。

募集期間

平成17年4月1日～5月31日

登録条件

- ・ 16歳以上で心身ともに健康である人
- ・ 病院ボランティアの趣旨に賛同し、協力的に活動して下さる人
- ・ 患者様のプライバシーが守れる人
- ・ 活動の時間等、約束が守れる人

- * 活動は無報酬です。
- * ボランティア活動保険、交通費、食費等は各自のご負担となります。



総合患者支援センター ☎086-235-7744までご連絡ください。